

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である

売上高

118,000百万円

営業利益

4,800百万円

経常利益

4,600百万円

当期純利益

3,000百万円

② 中長期の経営戦略

1. 冷蔵倉庫事業

積み重ねてきた高品質な物流で国内外の課題を解消し、スマートコールドサービスを提供

3. 経営基盤強化

生産性を向上させ事業の成長スピードを加速化させる

2. 食品販売事業

国内外の生産者ネットワークを活かし、目利き力により旬や美味しさをお客様へ

4. 2030年ビジョン

ヨコレイ事業ビジョン2030、ヨコレイサステナビリティビジョン2030を推進

③ 対処すべき課題

① 事業環境の課題

- ・人口減少による労働力不足
- ・原材料・エネルギー価格高騰と節約志向
- ・環境規制の厳格化

② 冷蔵倉庫事業の課題

- ・施設の老朽化問題
- ・フロンガス規制をはじめとする環境規制の厳格化

③ 食品販売事業の課題

- ・為替相場の急激な変動
- ・食資源の枯渇化と食資源獲得競争

面接で使えるポイント

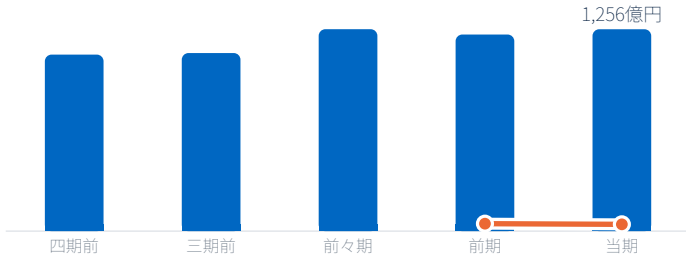
- ・人口減少と環境規制が厳しい中で、2030年ビジョンに向けスマートコールドサービスで競争力を強化
- ・冷蔵倉庫と食品販売の両事業で、人・もの・地球に優しい食品流通を実現する取り組み
- ・2026年度最終年度の中期経営計画「繋ぐ力」で、生産性向上と事業成長スピード加速を推進中

横浜冷凍株式会社

卸売業 | プライム（内国株式） | 決算期 9月30日 | 連結…

証券コード 2874

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,256億円

営業利益率
3.4%

財務健康度
19点 / 100点

要するに

プライム上場の卸売業企業で、直近期の連結売上は1,256億円

主力事業・セグメント

- ・食品Sales 69.9%
- ・RefrigeratedWare 30.0%
- ・その他 0.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,256億円の事業規模
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 雨 / 就活偏差値 46.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
597万円

卸売業内 203位/282社

平均年齢
36.6歳

卸売業内 277位/283社

平均勤続
12.2年

卸売業内 184位/282社

女性管理職
2.7%

卸売業内 165位/209社

男性育休
51.5%

卸売業内 134位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

横浜冷凍株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

